

## 子どもへの暴力や搾取の現状を世界の子どもたち 1,300 名に調査 報告書「子どもたちが語る暴力と搾取のない世界」を発表

2013年10月

チャイルド・ファンド・アライアンスは、子どもへの暴力や搾取の現状を「子どもの視点」から理解するため、1,300 名を超える子どもたちを対象にディスカッションを実施し、「子どもたちが語る暴力と搾取のない世界」と題する報告書を発表しました。報告書では、「学校で激しく叩かれ、死んでしまうこともある」という子どもへの暴力の実態や、子どもたちが自分たちの身を守るために必要だと考える「子どもたちからの提言」を掲載しています。

国連総会が 2015 年より先の地球の優先課題を協議する準備を進める中、世界の子どもたちから、子どもへの暴力と搾取に対する取り組みこそ優先課題に盛り込まれるべきだという声があがりました。発展途上国の子どもたちの支援に取り組む国際的なネットワーク組織、チャイルド・ファンド・アライアンスは、ポスト 2015 年開発目標（ポスト MDGs）の検討過程で子どもたちの声に耳を傾けるために、世界 41 カ国、1,300 人を超える子どもが参加する、フォーカス・グループ・ディスカッションを実施しました。この調査を通じて聞くことができた子どもたちの声をまとめ、報告書「子どもたちが語る暴力と搾取のない世界—free from violence and exploitation—」を発表しました。



41 カ国の子どもたちから最も多く聞かれた暴力の形態は、性的暴力、児童労働、体罰や子どもの品位を傷つける行為の 3 つでした。また、「学校で激しく叩かれ、死んでしまうこともある」、「臓器売買を目的に誘拐される」など、子どもたちを取り巻く過酷な実態も報告されています。一方で、子どもたちは自分たちの身を守るために必要な方策についても、「体罰を含む暴力を禁止する法律を定め、施行する」など、具体的な提言を示してくれました。報告書の要約（日本語）が、チャイルド・ファンド・ジャパンのウェブサイトからダウンロードすることができます。 [http://www.childfund.or.jp/files/Cildren\\_speak\\_about\\_being.pdf](http://www.childfund.or.jp/files/Cildren_speak_about_being.pdf)

報告書名	子どもたちが語る暴力と搾取のない世界 - free from violence and exploitation-
実施者	チャイルド・ファンド・アライアンス：社会から取り残された弱い立場にある子どもたちの生活を改善し、子どもたちが貧困を乗り越え、権利を実現することができるよう、世界 58 カ国で活動し、12 の団体からなる国際的なネットワーク組織です。チャイルド・ファンド・ジャパンはチャイルド・ファンド・アライアンスの加盟団体です。
調査方法	アジア、アフリカ、北米・中南米にまたがる 41 カ国で、各グループ 20 人～30 人からなるフォーカス・グループ・ディスカッションを実施し、ディスカッションに参加した 1,300 名以上の子どもたちの声をまとめました。
調査の目的	ポスト 2015 年開発目標の検討プロセスに子どもたちの声をより強く反映させること。
URL	報告書の要約（日本語）： <a href="http://www.childfund.or.jp/files/Cildren_speak_about_being.pdf">http://www.childfund.or.jp/files/Cildren_speak_about_being.pdf</a>

### お問い合わせ先

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン

募金グループ 細川、本間

TEL : 03-3399-8123 携帯 080-3497-9473 FAX : 03-3399-0730

〒167-0041 東京都杉並区善福寺 2-17-5

Email : [childfund@childfund.or.jp](mailto:childfund@childfund.or.jp) URL : <http://www.childfund.or.jp/>

**特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン**

理事長 = 深町正信 事務局長 = 小林毅

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975年から38年間、アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動をしています。

ビジョン : すべての子どもに開かれた未来を約束する国際社会の形成

ミッション : 生かしかされる国際協力を通じて子どもの権利を守る

**【活動している国】**

フィリピン、ネパール、スリランカ

**【活動内容】**スポンサーシップ・プログラム（子どもの支援）

現地の子どものひとりを日本の支援者のひとりが学校へ通えるように支援するという一対一のつながりを通して、子どもの成長や家族の生活改善、住民主体の組織づくりを支援します。昨年度は4,863名の子どもを支援しました。

支援プロジェクト（プロジェクトの支援）

貧困に起因する様々な問題の中で、特定の開発課題に応える支援事業です。地域医療や母子保健、貧困層の収入向上、栄養改善、少数民族支援などの課題に取り組んでいます。現在、2件のプロジェクト（協同組合強化支援プロジェクト（フィリピン）、子どもにやさしい学校環境整備プロジェクト（ネパール））を実施しております。

緊急・復興支援事業

台風や地震などの自然災害の被災者や、地域紛争による避難民を支援する事業です。

- ・フィリピン台風被害支援プロジェクト 2012年12月4日にフィリピン共和国ミンダナオ島を直撃した台風被害を受け、120名の子どもたちへのこころのケア、100世帯の住宅再建支援などの復興支援プロジェクトを実施しています。
- ・東日本大震災 2011年3月17日より、緊急支援物資の提供などの活動を開始し、拠点を構える岩手県大船渡市を中心に仮設住宅団地のコミュニティ形成プロジェクトや、子どもの生活充実プロジェクト、子どものこころのケアとグリーンワークプロジェクト等を実施。2013年3月末をもって事業を完了しました。

**【歴史】**

第二次世界大戦後、アメリカの民間団体 CCF (Christian Children's Fund : キリスト教児童基金) が日本の戦災孤児への支援を始め、この支援の受け入れ母体としてチャイルド・ファンド・ジャパンの前身が設立されました。CCF は延べ 86,000 名の日本の子どもを支援し、活動を終了しました。CCF から日本に受けた恩恵を、日本から支援を必要としているアジアの国々へ返そうと、杉並区善福寺を拠点に、国際協力活動を続けてきました。

**【寄付金控除】**

チャイルド・ファンド・ジャパンは国税庁長官が「認定 NPO 法人」として認定している約 231 団体のひとつです(2013年8月現在)。皆様からの支援金は寄付金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けられます。

**【チャイルド・ファンド・アライアンス】**

チャイルド・ファンド・アライアンスは、社会から取り残された弱い立場にある子どもたちの生活を改善し、子どもたちが貧困を乗り越え、権利を実現することができるよう、世界 58 カ国で活動する国際的なネットワーク組織です。チャイルド・ファンド・ジャパンはチャイルド・ファンド・アライアンスの加盟団体です。

※チャイルド・ファンド・ジャパンは特定の宗教や政治団体とは一切関係ありません。